

【主題名】相手と分かり合っ

【相互理解・寛容】 中学年 B (10)
(内容項目の指導の観点を記入、学指 P26～27)

【教材名】心をしずめて (日本文教出版)

【本時のねらい】

感情的にならず、落ち着いて相手の考えを理解しようとするのでお互いに分かり合い許し合えることに気づき、互いに相手を理解し、尊重しようとする態度を育てる。

【指導の要点】

ともみの、あき子を許したいけれど許せない気持ちに触れ、相手の立場や気持ちを理解し、過ちを許そうという寛大な心を持つことのよさに気付かせるようにする。

【主題に関わる児童の実態】

- ・自分と他の人との考え方や感じ方に違いがあることは、概ね理解している。
- ・日常的に、相手とのやり取りの中で感情的になり意見が対立してしまう傾向がある。
- ・相手の考えや感じ方を想像することに弱さがあり、トラブルになってしまう場面が多い。
- ・自分の考えをうまく相手に伝えられず、一方的に腹を立ててしまう児童もいる。

【授業を通して引き出したい児童の考え】

- ・いつもより上手く描けていたのに汚れてしまった。
- ・わざとじゃないとわかっていても許せない。
- ・謝っているあき子にひどい態度をとって、悲しませてしまった。
- ・あき子は、大切な友達なのに。
- ・自分の気持ちしか考えていなかった。
- ・仲直りできたら気持ちがすっきりして、前より仲良しになったような気持ちになる。

指導上の工夫

<p>自分自身との関わりで考えるための工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの生活を振り返ることを通して、自分の思いだけで相手のことまで考えられていなかったことに気付かせる。 ・心情メーターを使って、気持ちの変容を可視化する。
<p>多面的・多角的に捉えるための工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ともみとあき子、それぞれの気持ちから、二人の思いや考えの違いについて考えさせる。 ・兄の言葉から、友達の大切さだけでなく、許せなかった自分の心の狭さを気付かせるような発問や問い返しをする。
<p>主題に迫るための工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ともみの気持ちの変容から、心を落ち着かせ自分を見つめ直し、相手を許したり相手から学んだりすることの大切さに気付かせる。 ・友達の気持ちや考えを聞いてわかろうとすることや、自分の思いを伝えることの大切さに気付かせる。

板書計画 (ポイントのみ)

相手とわかり合って

心をしずめて

だまっているともみ

- ・うまくかけていたのに
- ・いきなり声をかけるなんてひどい
- ・あやまられてもゆるせない

兄「そんな友だち、やめちまえよ」

なんだか少しへんな気持ちになったともみ

- ・あき子はなかよしの友だちなのに
- ・「じょうず」と言ってくれた
- ・わざとじゃないのに
- ・あき子にひどい態度をとってしまった

あき子の家へ走るともみ

- ・あやまって仲直りしたい
- ・これからもあき子ともみでいたい
- ・自分のことしか考えていなかった

仲直りできてよかった
モヤモヤがなくなっ
てすっきり
また仲良しにもど
れてうれし

【学習指導過程】

	学習活動と主な発問（○）、中心発問（◎）、問い返し（◆）	児童の反応
導入	<p>1. これまでだれかに腹を立て許せなかったことについて考える。</p> <p>○ だれかにあやまってもらったのに、腹が立ってゆるせなかったことはありませんか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達にぶつかられたとき、謝ってもらったのに痛くて許せなかった。 ・友達とけんかして、腹が立って許したくないことがあった。 ・友達とけんかして、ごめんねと言われていいよと許したけど、本当は許せないくらい腹が立っていた。
展開	<p>2. 教材を読んで考え、話し合う。</p> <p>○あき子に謝られても黙っていたともみは、どんな気持ちだったのでしょうか。</p> <p>◆あき子が、「ごめん、ともみちゃん。」とすぐに謝ったけれど、このときのともみはどんな気持ちだったのでしょうか。</p> <p>◆心情メーターで表してみよう。</p> <p>○「そんな友だちやめちまえよ。」と言うお兄さんの言葉を聞いたともみは、どんな気持ちになったのでしょうか。</p> <p>◆ともみの、少し変な気持ちとはどんな気持ちのことでしょう。</p> <p>◆あき子がくれた貯金箱を見ているうちに、ともみはどんな気持ちになったのでしょうか。</p> <p>◎あき子の家を目指して走るともみは、どんなことを思いながら走っていたのでしょうか。</p> <p>◆今のともみは、どんな気持ちでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・急に声をかけるのはひどい。 ・いつもより上手く描けていたのに。 ・謝られても、絵はもと通りにはならない。 ・わざとじゃなくても許せない。 ・あき子だって自分がされたら怒ると思う。 ・あき子は、いつも一緒に帰る仲良し。 ・誕生日におめでとうと言ってプレゼントをくれた優しい友達。 ・ともみの絵を「上手。」と褒めてくれた。 ・わざとじゃないのに。 ・謝ってくれたのに、ひどい態度をとってしまった。 ・昼休みにも謝ってくれようとしていたのに、知らん顔をしてあき子を怒らせてしまった。 ・あき子を悲しませてしまったから、謝りたい。 ・これからもずっと友達でいたい。 ・謝ってくれたのに自分の気持ちだけであき子を許してあげられなかった。 ・自分もひどいことをしてしまったから、謝って仲直りしたい。
終末	<p>5. 振り返る。</p> <p>○あき子さんの家へ行ったとき、どんな気持ちになるでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・うれしくてほっとする。 ・仲直りできて安心する。 ・また仲良しに戻って一緒に楽しく過ごしたい。

【評価の視点】

㊦ 自分がともみだったらと置き換え、相手の気持ちを考えることで、心を落ち着かせて友達を許せることに気付いたか。（発言・記述）

㊧ あき子に対する気持ちの変化を様々な視点でとらえ、過ちを許そうという寛大な心を持つことのよさについての考えを深めている。（発言・記述）